

## 慢性胃炎

慢性胃炎とは、胃炎が長期間、くりかえし起こることで胃粘膜が変化してしまう状態のことをいいます。

### ◆原因は

- ①ピロリ菌の感染
- ②加齢による胃の老化
- ③偏った食生活
- ④過度のストレス
- ⑤過度の喫煙や飲酒

### ◆自覚症状として、

- ①上腹部不快感
- ②胃もたれ
- ③食後のむかつき
- ④食欲不振
- ⑤ほとんど自覚症状のない場合も多い

### ◆治療法として

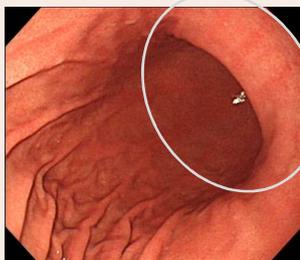
- ・ピロリ菌感染を認める場合は、ピロリ菌の除菌を行います。
- ・自覚症状に応じて、対症療法を行います。

### ◆治療に使われるお薬には

- ①胃酸の分泌を抑制する働きのあるもの  
(胃酸分泌抑制薬)
- ②胃を保護する働きのあるもの  
(胃粘膜保護薬)
- ③胃の運動を良くする働きのあるもの  
(運動機能改善薬)

があります

## 内視鏡検査所見



正常



慢性胃炎（萎縮性胃炎）

慢性胃炎の大半はピロリ菌の長期感染によって引き起こされると考えられています。

ピロリ菌を除菌することにより、慢性胃炎（萎縮性胃炎）の改善や胃部の症状の改善が期待できます。

また、胃がんの発生リスクを抑えることが可能です。

## 食事や日常生活の注意点

- ・睡眠不足やストレスを解消し、規則正しい生活を心掛けましょう。
- ・毎日、定期的に食事をとりましょう。
- ・暴飲暴食をさけ、胃に負担をかけない食事をしましょう。
- ・タバコ、アルコール、刺激物は胃粘膜への負担が大きくなると考えられます。  
胃の調子が悪いときは、極力控えるようにすることが大切です。

## 院長からひとこと

慢性胃炎は病気と考える必要はありません。症状があれば治療を受けるといったことで十分と思われます。ただ、自覚症状だけでは診断できないため、特に胃がんを除外する意味で、1年に1回の内視鏡検査を受けることをお勧めしています。

